

作成例

「教員としての資質の向上に関する指標」に基づいて、身に付けていると考える資質・能力や実際の業務との関連、さらに資質・能力を向上させるための活動について自己分析しましょう。個人による省察に加え、管理職や同僚との対話の場面など、自身にとって必要な学びを主体的にマネジメントするためのツールとして活用してください。

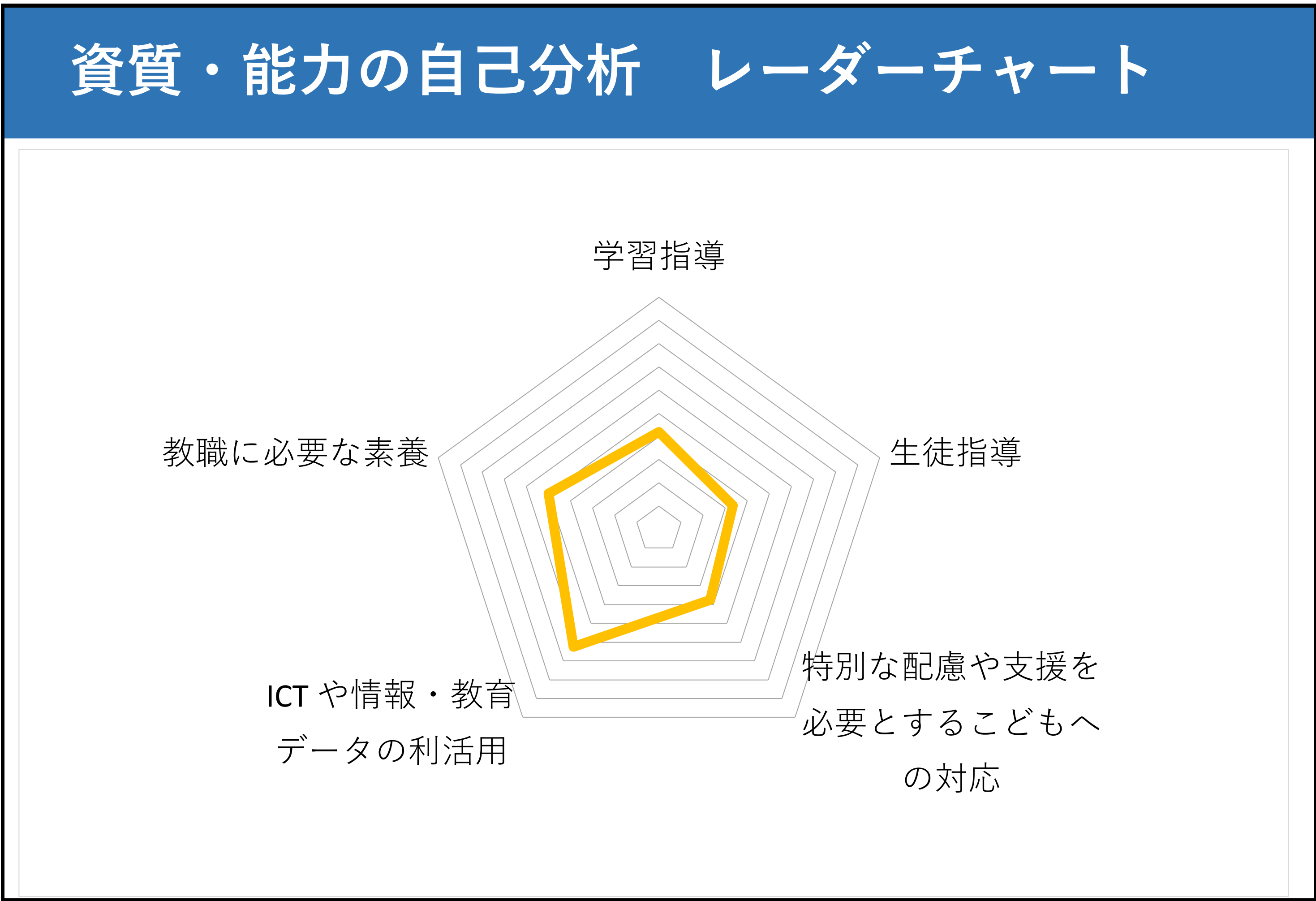
教員に求められる資質・能力

自己分析ツール

〇〇立〇〇〇学校
〇〇 〇〇

こちらに「所属」「氏名」「作成日」を記入します。

所属	〇〇立〇〇〇学校	
氏名	〇〇	〇〇
作成日	〇月〇日	



自身の強みを生かした具体的な業務
○授業におけるICT活用 ○校内ICT委員会の一員として研修会の主催 ○外部講師と連携したふるさと学習の企画・運営
伸ばしたい資質・能力と向上のための活動
○「授業研究・授業改善」 研究授業と検討会の実施（△月） ○「障害特性に応じた指導・支援」 □□□研修の受講（△月） ○「学校組織の一員としての行動」 会議において積極的に意見を述べたり、日常的に同僚と情報共有したりする。
作成日 〇月〇日

自己分析した結果に基づいて、自身の強みが生かされていると感じる現在の業務、又は過去に取り組んだことのある業務を記載します。

自己分析した結果に基づいて、今後伸ばしたいと考える資質・能力と、その向上を目指すために具体的にどのような活動を計画するかを記載します。

キャリア段階 資質・能力		1 段階	2 段階	3 段階	4 段階
		基礎形成期 （目安：1年目～3年目）	伸長期 （目安：4年目～10年目）	充実期 （目安：11年目～20年目）	貢献期 （目安：21年目以降）
		教壇に立つ者として身に付けておくべき、教職の基礎・基本を実践しようとする。	教壇実践に努め、教職に係る基礎的能力を伸ばそうとする。	教員集団のリーダーとして、自身の専門性を更に向上させようとする。	これまでの経験を生かし、幅広い視野をもって学校運営及び教員の指導に関わろうとする。
学習指導	授業構成・評価計画 Plan	本時のねらいに応じためあての設定やまとめを考え、本時の保育・授業計画を立てようとするとともに、先輩教員の助言を得ながら単元計画や評価計画を立てることができる。	教材や教具、環境構成を工夫しながら、こどもの実態を踏まえた本時の保育・授業計画を立てるとともに、付けたい力を明確にし、見通しをもって単元計画や評価計画を立てることができる。	カリキュラム・マネジメントに基づき、指導と評価が一体化された保育・授業計画を立てるとともに、学年や単元間の系統性を意識し、ねらいに沿った単元計画や評価計画を立てることができる。また、同僚や若手教員が作成した単元計画や評価計画についての確に指導・助言を行うとともに、改善に係る具体的な代替案を示すことができる。	
	学習指導・評価技術 Do	こどもの発言や机間指導により、こどもの反応や理解を確かめながら保育・授業を行うとともに、こどもの理解度を、設定した場面・評価規準により評価・支援することができる。	こどものつぶやきや反応に適切に対応しながら、保育・授業を行うとともに、学習状況に応じて、こどもに適切な評価・支援を行うことができる。	保育・授業中に、こども一人一人の理解度を発言や机間指導により把握し、こどもの理解度に応じた効果的な指導ができる。また、こどもの学習状況に応じて適切に評価・支援を行い、それらの見取りを、次時以降の保育・学習指導計画の修正に生かすことができる。	
	授業研究・授業改善 Check Action	日々の保育・授業実践を振り返り、自身の課題を把握・分析し、改善することができる。	進んで研究保育・研究授業等を行い、保育・授業実践の積み重ねながら、多様な指導方法を行うことができる。	先輩教員等と連携しながら、資質向上の取り組みを行い、指導・評価の達成度を高めることができる。	
生徒指導	個に対する支援	こどもの内面を共感的に理解し、校内組織等の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。	こどもの生育歴等の背景を踏まえ、校内組織等と連携・協働しながら、適切な指導・援助ができる。	こどもの資質・能力の向上を図るために、校内組織等と連携・協働しながら、適切な指導・援助ができる。	
	集団に対する支援	こどもは集団の中で育つことを理解し、校内組織等の助言を得ながら、規律のある望ましい集団づくりを行うことができる。	こども同士が高め合い、助け合い、協力し合いながら、適切な指導・援助ができる。	こどもの資質・能力の向上を図るために、校内組織等と連携・協働しながら、適切な指導・援助ができる。	
	社会的資質・能力の発達の支援	社会と関わろうとする意欲や態度の育成について、校内組織等の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。	社会に貢献しようとする意欲や態度の育成について、校内組織等の助言を得ながら、適切な指導・援助ができる。	こどもの資質・能力の向上を図るために、校内組織等と連携・協働しながら、適切な指導・援助ができる。	
特別な配慮や支援を必要とするこどもへの対応	障害特性に応じた指導・支援	特別な配慮や支援を必要とするこどもの発達段階や特性を理解し、関係職員等との連携により、学習上・生活上の支援の工夫を行うことができる。	特別な配慮や支援を必要とするこどものよりよい指導・援助を行うことができる。組織的に対応することができる。	特別な配慮や支援を必要とするこどものよりよい指導・援助を行うことができる。組織的に対応することができる。	
教職に必要な素養	ICTや情報・教育データの利活用	学校におけるICT活用の意義を理解し、授業や校務等に積極的に取り入れることができる。	授業や校務等にICTを効果的に活用するとともに、こどもの情報活用能力（情報モラルを含む。）の育成にに向けた授業実践を行うことができる。	こどもの情報活用能力（情報モラルを含む。）の育成や校務の情報化を、より効果的に行うための校内研究を推進することができる。	ICTを効果的に活用するための校内組織の整備や、こどもの情報活用能力の育成を体系的に行うためのカリキュラム・マネジメントの実現を図ることができる。
	学習指導・評価技術	教育データを適切に活用することの意義と効果を理解し、個別最適で効果的な学びや支援において適切に活用することができる。	個々のこどもに応じた学習指導と生徒指導等の改善のため、教育データを適切に活用するとともに、効果的な指導等の改善に向けてデータ活用の提案ができる。	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実や、経験の共有と新たな知見の生成のため、教育データを適切かつ効果的・具体的に活用することができる。	教育データの利活用に係る校内組織の整備を図るとともに、授業改善や効果的な指導・支援を充実させるため、利活用に関する評価・改善を行うことができる。
	授業研究・授業改善	学級担任の役割と職務内容及び学校、組織、校務分掌等について理解し、自分の役割を遂行することができる。	学校教育目標を理解し、学級経営や校務分掌等の様々な教育活動における役割を円滑に進めることができる。	学校教育目標を達成するため、校内組織等と連携しながら、教育活動を工夫改善することができる。	学校教育目標を達成するため、学校運営の持続的な改善を支え、教育活動の効果をも高めるための指導・助言ができる。
社会性	学校組織の一員としての行動	学校及び教職の意義を理解し、組織の一員としての行動することができる。	学校の社会的役割を理解し、組織の一員として、自身の意見を効果的に伝えるなど積極的に参画することができる。	自身や学校の強み・弱みを理解し、学校組織をつなぐ中核として、課題解決に向けて行動することができる。	学校組織マネジメントの意義を理解し、自校の特性を見極め、課題への対応力を高めるよう指導・助言ができる。
	地域等と積極的に関わり、ながら教育活動を行うこと	地域等と積極的に関わり、ながら教育活動を行うことができる。	保護者や地域等との関わりを深め、連携・協働による教育活動を行うことができる。	保護者や地域等とのネットワークを構築し、連携・協働による教育活動の効果をも高めることができる。	保護者や地域等とのネットワークを有効に活用して教育活動を行い、かつ同僚への指導・助言ができる。
	危機管理意識の醸成	様々な教育活動での危機について理解し、課題に応じて環境を整備することができる。	様々な教育活動での危機について理解し、課題に応じて環境を整備することができる。	様々な教育活動での危機を予測し、未然防止や早期発見、早期対応に努めることができる。	関係機関等との連携・協働を通して、危機管理体制等を見直すなど、組織的な取組を推進し、かつ同僚への指導・助言ができる。
自己分析	自己分析	自己分析した結果に基づいて、自身の強みが生かされていると感じる現在の業務、又は過去に取り組んだことのある業務を記載します。	自己分析した結果に基づいて、今後伸ばしたいと考える資質・能力と、その向上を目指すために具体的にどのような活動を計画するかを記載します。	自己分析した結果に基づいて、自身の強みが生かされていると感じる現在の業務、又は過去に取り組んだことのある業務を記載します。	自己分析した結果に基づいて、今後伸ばしたいと考える資質・能力と、その向上を目指すために具体的にどのような活動を計画するかを記載します。
	自己分析	自己分析した結果に基づいて、自身の強みが生かされていると感じる現在の業務、又は過去に取り組んだことのある業務を記載します。	自己分析した結果に基づいて、今後伸ばしたいと考える資質・能力と、その向上を目指すために具体的にどのような活動を計画するかを記載します。	自己分析した結果に基づいて、自身の強みが生かされていると感じる現在の業務、又は過去に取り組んだことのある業務を記載します。	自己分析した結果に基づいて、今後伸ばしたいと考える資質・能力と、その向上を目指すために具体的にどのような活動を計画するかを記載します。
	自己分析	自己分析した結果に基づいて、自身の強みが生かされていると感じる現在の業務、又は過去に取り組んだことのある業務を記載します。	自己分析した結果に基づいて、今後伸ばしたいと考える資質・能力と、その向上を目指すために具体的にどのような活動を計画するかを記載します。	自己分析した結果に基づいて、自身の強みが生かされていると感じる現在の業務、又は過去に取り組んだことのある業務を記載します。	自己分析した結果に基づいて、今後伸ばしたいと考える資質・能力と、その向上を目指すために具体的にどのような活動を計画するかを記載します。

指標の各項目に表された資質・能力について、身に付いていると考えるものは、そのセルをクリックします。

← 分析結果は左のレーダーチャートに反映されます。